

第6学年社会科学学習指導案

日時 2012年10月19日

場所 文教小学校

児童 24名

授業者 日本史夫

1. 単元名

「近代の日本の国づくり」

2. 単元の目標と評価

(1)目標

- ・ 明治維新に至る先人の働きに関心をもち、日本の鎖国からの転換期のことや、明治維新による我が国の近代化の様子を意欲的に調べようとしている。
- ・ 開国によって、の日本が不平等な条約を結んだことを理解する
- ・ 我が国の歴史の転換、近代化に果たした人々の働きや思いを、当時の社会の様子や外国と関係させて考えることができる。
- ・ 絵画資料や年表、写真、文章資料等の資料を効果的に活用して、開国の流れや明治政府の諸政策や当時の人々の様子を調べ、明治維新をつくりあげた人々の働きと関連させながら表現することができる。
- ・ 日本の海外の国々とかかわりを持つ過程、また明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことがわかる。

評価規準

ア. 関心・意欲・態度	イ. 思考・判断・表現	ウ. 資料活用・観察	エ. 知識・理解
<ul style="list-style-type: none">○ 日本の近代化に向けて、幕末や明治初期における先人の業績や優れた文化遺産に興味・関心を持つ。○ まちや人々の様子の変化に興味・関心をもち、進んで調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none">○ 新しい時代への変化がなぜ起こり、どのように進んでいったかについて、学習問題を考え、表現している。○ 幕府に不満が強まり、幕府が倒されたことを開国による影響と関連付けて考えている。	<ul style="list-style-type: none">○ 図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、資料を読み取る視点を明確にする。(人、建物、乗り物、まちの様子等)○ 二枚の資料を比較して読み取れる変化と江戸幕府が鎖国していた時とどちらが	<ul style="list-style-type: none">○ 日本が開国にいたる経緯や、アメリカと結んだ条約が不平等なものだと理解している。○ 明治政府が行った諸改革の内容と、それによって社会がどのように変化したのかを理解している。

		良いか考えられる。	
--	--	-----------	--

3. 単元について

(1)学習指導要領とのつながり

学習指導要領との関連として、「黒船の来航」を具体的に調べる活動を通して、我が国が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるようにすることをねらいとしている。

「黒船の来航」について調べるとは、ペリー率いる米国艦隊の来航を取り上げて、我が国の開国と江戸幕府の倒れるきっかけになったことが分かるようにすることである。また、我が国の開国について学習するにあたって、日本が開国したことに対して、自分なりの疑問(なぜ開国したのか?鎖国を続けなかったのか?)を持てるように指導する。

「明治維新」について調べるとは、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允の維新三傑の働きによって、明治天皇を中心とした新政府が作られたこと、勝海舟と西郷隆盛の話し合いにより江戸城の無血開城が行われたこと、明治政府の政治方針として五箇条の御誓文が發布され、廃藩置県や四民平等などの諸改革によって、近代的な政治や仕組みが整ったことが分かるようにする。

「文明開化」について調べるとは、福沢諭吉が欧米の思想を紹介するなどして、欧米の文化が広く取り入れられたことなどを調べ、人々の生活が大きく変化したことが分かるようにする。

(2)教育内容について

教育内容については以下のとおりである。

日本開国の世界情勢として、18世紀後半にイギリスで産業革命が起こった。産業革命によって貿易を展開し、アジアまで市場を拡大した。イギリスは中国から茶を輸入していたが、それに見合う輸出品がなく、禁制品のアヘンをインドから輸入した。アヘンの量が19世紀に急激に増大し、中国から大量の銀が流出した。銀の流出によって中国の経済が乱れると考えた中国政府は、清朝のアヘン厳禁論の高まりによって外国商人からアヘンを没収、焼却させた。これに対してイギリスは武力に訴え、清を破り南京条約を締結させた。これがアヘン戦争である。

清の敗戦を知った江戸幕府は、当時の対外政策として行っていた異国船打ち払い令(強硬策)を取り下げ、薪水給与令(避戦策)に切り替えた。また、貿易を行っていたオランダからも鎖国の危険性を警告されていた。幕府は危険を知ったうえで、江戸の守備を強化するため品川や浦賀などに砲台を建築し、軍事訓練のため、空砲という条件での鉄砲の訓練、並びに実弾で砲術訓練を諸藩に許可した。

その後、1846年にビートル、1853年にペリーが立て続けに来航している。アメリカやロシアもイギリス同様、貿易の中継ぎ地や市場がほしかったため、日本をどうしても開国させたかった。日本が中国同様開国を拒んだら戦争を起こしていた可能性もあったという説もある。返答を1年待たせた幕府は、その後、アメリカと日米和親条約を締結し、開国に至った。しかし、幕府が条約を締結させ開国したことが果たして正解だったのか、というこ

とを授業のテーマにしたい。

鎖国を拒み、清のように植民地化されていなかったという点から見れば、条約を締結し開国に至ったことは、幕府の判断は成功だったといえる。しかし、開国して貿易を始めたことによって、貿易のための輸出品の買い占めが起り、物価が上昇し、農民・下級の武士の生活が苦しくなった。また、調印した和親・通商修好の条約自体も、「関税自主権を持たない」、「相手の領事裁判権を認める」、「相手を最恵国とする」など、日本にとって不平等な内容であった。これを機に日本国内では、公武合体論から倒幕論へと移り変わる、新しい国づくりの動きが現れることとなった。

江戸幕府は、徳川慶喜が大政奉還を行ったことで終わりを迎えた。明治政府が発足された当初の目標は、西洋の技術を取り込み、近代化を進め、欧米諸国に追いつくといったものであった。そのために明治政府は、廃藩置県により中央集権体制を築いたこと、学制をさだめ教育内容を徹底したこと、板垣退助や大隈重信の運動を受けて、伊藤博文がワイマール憲法を模範とした大日本帝国憲法を發布したことなどが挙げられる。

(3)教材選定の理由

「ペリーと開国」では、阿部正弘と日本の対外政策について扱う。日本の開国は、英、米、露といった列強の圧力に負け、開国せざるを得なかったというイメージが強い。しかし、当時の老中首座であった阿部正弘の政策や対応について焦点を当てることで、日本は開国させられたという視点だけでなく、西洋の技術を取り入れるべく、また西洋のように発展するために開国に至ったというもうひとつの視点を挙げる。さらに、明治政府は開国したことで、欧米の諸国から西洋技術が伝わり、文明開化をすることができたという視点には、反対に、当時の民衆や下級の武士の生活が貿易の開始によって苦しくなったことを取り上げる。最終的には、1つの事象に対して、様々な視点で見ていくことを通して、児童自身が価値分析をし、どのように判断すればよかったのであろうか（例えば、開国するべきであったか否か？）という課題を持って授業に挑めるよう導く。

(4)系統性

前單元では、江戸時代の文化や学問のうち、歌舞伎や浮世絵を取り上げ、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことを学習した。本單元では今まで鎖国を続けてきた幕府が、ペリーの来航をきっかけに開国に至り、近代化への道を歩み始めるといった内容である。ペリーの来航から、江戸幕府が倒れ、日本国という1つの国家、つまり中央集権体制への転換期が本單元の内容である。児童には、幕府から明治政府への転換期に何があったのか、どのように開国したのかを理解させる。特に、幕府の開国の判断・選択を焦点化し、当時の物価や生活を背景として捉えながら、幕府は開国するべきだったのか、否か、ということについて学習を進める。そして、開国したことによって版籍奉還や廃藩置県、徴兵令や学制などの近代化にどのような影響を与えたのかを追求していく。

4. 指導計画(全8時間)

次	時数	主な学習活動	各時間の評価基準
---	----	--------	----------

<p>第1次開国にむけて</p> <p>1時間目</p> <p>2時間目</p> <p>3時間目</p> <p>4時間目</p> <p>本時</p>	<p>○開国前と後の資料を見せどかがどのように変わったのかを理解し、ペリーの来航につなげる。</p> <p>○開国はどのように行われたのか理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の日本の対外政策(異国船打ち払い令、薪水給与令、日米和親条約、日米修好通商条約、など)について ・ペリーの開国要求に対する幕府の対応について ・なぜペリーは太平洋を横断せずに大西洋から来たのか <p>○開国をして人々の生活はどのように変わったのか知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の輸出品のために買い占めが起こり、物価の高騰が起こる ・不平等な条約の内容について(最恵国待遇、関税自主権がない、領事裁判権の承認など) ・欧米諸国と幕府の力の差(蒸気船、拳銃、大砲、など) <p>○「開国するべきだったか否か？」開国派、鎖国派、民衆などそれぞれの立場に立ってロールプレイングを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府「燃料や食料を与えたり、遭難者を保護したりするのはいいが貿易はしない」 ・開国派「清のように植民地にされてしまうからすぐに開国するべきだ」 ・鎖国派「鎖国派は幕府当初からの祖法であってやめるべきではない」 ・民衆「外国との戦争になってほしくない」 ・朝廷「外国人は嫌いなので開国して欲しくない」 	<p>ウ開国前と後で違うところが理解できている。</p> <p>ウ ペリー来航時の資料から当時の幕府の様子について予想する</p> <p>A：幕府は慌てたため、開国の返答を送らせていることに気づく</p> <p>B：開国により、不平等な条約を結ばされたことに気づく。</p> <p>ウ 物価のグラフから人々の生活が分かる</p> <p>A：物価の高騰から民衆や下級の武士の生活が苦しくなったことが分かる</p> <p>B：物価が高騰したことが分かる</p> <p>イ それぞれの立場に立って、多面的・多角的な視点を持ってロールプレイングを行う。最終的には、セルフディベートを行い、自分の考えをまとめる。</p> <p>A：資料から調べたことや学習した内容を踏まえて自分の考えをまとめ発表している</p> <p>B：自分の意見を発表している</p>
<p>第2次幕</p> <p>1時間目</p>	<p>○誰が、なぜ、どのようにして幕府を終わらせたのか知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ちこわしや百姓一揆のグラフなどから、江戸幕府に対する人々の不満が広がっていた ・武士の中からも、幕府の政治を批判する勢力 	<p>ウ米屋の資料を見せ、ききんや打ちこわしの原因になったことを理解する。</p> <p>エ どのような身分、立場の人々に幕府は倒されたのか理</p>

府 が た お れ る		<p>が出てきた</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府が倒れた経緯と要因をまとめる。 	<p>解する</p> <p>A：大塩平八郎が何をしたのかを理解している</p> <p>B：薩摩藩や長州藩など明治の中心となる人物が行ったと理解する</p>
第 3 次 新 し い 国 づ く り	<p>1 時間目</p> <p>2 時間目</p> <p>3 時間目</p>	<p>○明治政府の基本方針はどのようなものか調べ、理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> 天皇を中心として行った政策について理解する。(五箇条の御誓文、廃藩置県、解放令、等) 資料からどこの文化や政治を学ぼうとしているか <p>○西洋の文化が入ってきたことで、人々の生活はどのように変化したのか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料から気づいたことについて話し合う 話し合った後、文明開化で日本に入ってきた西洋の文化について調べる 西洋の文化が入ってきたことで、生活は楽になったと言えるのだろうか? <p>○なぜ大日本帝国憲法が発布されたのか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 私擬憲法の資料をもとに大日本帝国憲法とどこが違うのか比べる なぜ私擬憲法ではだめなのか? 	<p>エ 近代化に向けて行った政策について積極的に調べる。</p> <p>A：近代化に向けて行われた政策は西洋を参考にしたものであることに気づく。</p> <p>B：それぞれの制作の内容について理解する</p> <p>ウ 教科書や資料集を活用して、明治の人々の生活について知る。</p> <p>エ 四民平等や地租改正、学制、徴兵令、富岡製糸場など、あらゆる場所で様々な問題があったことを理解する</p> <p>(学制による就学率の低下、四民平等でも違う形で差別が生まれるなど)</p> <p>イ 私擬憲法と大日本帝国憲法の違いに気づき、なぜ私擬憲法は弾圧されたのか考える</p> <p>A：私擬憲法では、明治政府の理想とする西洋に負けない国づくりにならないためであると考える。</p> <p>B：大日本帝国憲法と私擬憲法</p>

			の違いに気づける
--	--	--	----------

4. 本時について

(1)本時の目標

開国するべきか、鎖国を続けるべきかの問題に対して、それぞれの立場に立って考え、様々な資料を活用することで自分の考えをまとめ、友だちに自分の考えを説明することができる

(2)本時の準備

- ・ 諸大名の考え ・ 佐久間象山 ・ 元寇での惨劇 ・ 日本の船と黒船の比較図
- ・ アヘン戦争の様子を表すイラスト ・ 不平等な条約の内容
- ・ ペリーの航海ルート ・ ペリーが持ってきた物 ・ キリスト教

(3)本時の評価規準

- ・ 当時の周りの国の様子や国内の様子をもとに、開国すべきか？鎖国を続けるべきか自分なりの意見を持ち、説明することができる(思考・判断・表現)
- ・ 様々な資料を活用し、それぞれの立場に立って、自分の意見をまとめ、発表することができる(資料活用)

(4)本時の展開 〈2時間分〉 (3.4時間/8時間)

	児童の活動	教師の活動	指導の留意点
事象提示	<p>○開国をして人々の生活はどのように変わったのか確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貿易の輸出品のために買い占めが起こり、物価の高騰が起こる ・ 不平等な条約の内容について(最恵国待遇、関税自主権がない、領事裁判権の承認など) ・ 欧米諸国と幕府の力の差(蒸気船、拳銃、大砲、など) ・ 幕府の判断に対して、民衆や武士の不満が高まり、ききんや打ちこわしが発生する。 	<p>◎前時までの振り返りを行う</p> <p>「幕府が鎖国をやめて開国することになったけど、開国してから人々の生活はどのように変わりましたか？」</p> <p>「そうですね。ペリーが浦賀にやってきて幕府に開国するよう言ってきたんだよね。そこで、幕府は1年待ってもらって最終的には、開国することになったんだよね。それでも、開国したことで、人々の生活変化が生じたんだよね。」</p>	<p>☆前時に学習した内容を思い出せない場合は、前回のノートを見直す時間を取り、内容の確認を行う</p>

<p>課題設定</p>	<p>○幕府は開国すべきだったのか、鎖国を続けるべきであったのか 様々な立場に立って考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開国派 ・ 鎖国派 ・ 中立派 	<p>◎課題設定</p> <p>「そこで今回の授業では、阿部さんの開国をするといった判断は正しかったのか、ということについて学習していきたいと思います。」</p> <p>「話し合うために、それぞれ開国派、鎖国派、民衆(中立)の立場になって考えてもらいたいと思います。」</p>	
<p>学習課題:幕府は開国すべきだったのか?鎖国を続けるべきだったのか?</p>			
<p>検証に必要な資料の設定</p>	<p>○資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 ・ 資料集 ・ 配布したプリント <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「ペリーのお土産」 ②「佐久間象山の意見」 ③「元寇での惨劇」 ④「アヘン戦争の資料」 ⑤「諸大名の意見」 ⑥「不平等条約の内容」 ⑦「キリスト教」 ⑧「日本の文化」 	<p>○資料1の説明</p> <p>「具体的にどんなお土産があったのかな。大名は進んだ技術を取り入れていったのかもしれないね。」</p> <p>○資料2の説明</p> <p>「佐久間象山は幕府より早く開国しようとして幕府に提案しているね。開国をすることで、西洋の文化を早く取り入れて、日本の発展につなげたり、国際的な日本となって世界の国々と肩を並べたかったんだね」</p> <p>○資料3の説明</p> <p>「そういえば、前にも他国の人たちが攻めてきたよね。覚えているかな?モンゴルだよね。もし断ったら攻撃させられるのかな」</p> <p>○資料4の説明</p>	<p>☆児童がなるべく多くの意見を出せるよう、教師が資料の説明とともに、ヒントをだしていく。</p> <p>資料① 困:「ラッパが何ですごいの?」 →「当時の日本にはない技術であった。金管楽器はなかったんだよ。」など西洋技術と日本の技術の差を理解させる。</p> <p>資料② 困:「何で早くから幕府に開国するよう言わなかったの?」→象</p>

		<p>「清はイギリスの開国要求を断り、戦争になった挙げ句、植民地化されてしまったんだ。資料の中で、どっちがイギリスの船だろう。黒くて大きなえんとつがついた船だね。その西欧の船と日本の船がどっちだか再び考えてみよう。」</p> <p>○資料5の説明 「大名によっていろいろな考えがあって立場も分かれていたんだね。」</p> <p>○資料6の説明 「幕府は関税自主権がない、領事裁判権の承認、最恵国待遇を認めることとなってしまったんだ。日本に有利になったり利益になったりすることはあったかな。」</p> <p>○資料7の説明 「この絵は何をしている絵かわかるかな。踏絵だね。宗教が広がっていくことを恐れたんだね」</p> <p>○資料8の説明 「開国前と開国後で街並みや服装が変わってるね。」</p>	<p>山は下級の武士だったから意見できなかった。 資料③ 困:「なんだっけこれ」→モンゴルが攻めてきた時の図だよ。</p> <p>資料④ 出: 開国派なら植民地にされないように(ヨーロッパの植民地勢力図参照)。鎖国派なら一部を開国して貿易をすれば良い(既習事項である長崎の出島を連想)</p> <p>資料⑤ 諸大名の意見から、開国派や鎖国派などの情報を読み取ることができる</p> <p>資料⑥ 困:「何で開国したの?」→阿部さんなりに被害を最小限に抑えた事を理解させる</p> <p>資料⑦ 他宗教に対しての当時の人たちの気持ちを考え</p>
--	--	--	--

			る。
1 人 調 べ	○資料をもとに個人で予想をたてる ・ 開国派 ・ 中立派 ・ 鎖国派 ※資料を見て、意見が変わった人は移動して良い。	◎机間巡視 「資料を参考にして、自分の立場についての意見・考えを発表できるようにノートに考えをまとめましょう」	☆1人調べの進行状況が遅い児童には、前回の授業ノートを確認させる等して自力解決を促すよう指導する
班 に お け る 活 動	○開国派、鎖国派、民衆(中立)のそれぞれの立場に立ち、班の中で自分の意見を発表する 例:「△番の資料から——の事が分かるから○○した方がいいと思います。」 ●予想される意見 ・ 開国派 ① ペリーのお土産 「楽器など日本に比べて進んだ文化がある。開国によってそのような物が多くもたらされた。」 ② 佐久間象山の意見 「開国によって進んだ技術を取り入れ日本が発展すれば、アメリカやイギリスと肩を並べるかもしれない。」 ③ 元寇での惨劇 「断ったら、また襲撃されるかもしれないから開国しよう！！」 ⑧日本の文化 「あの時開国したから、今の日本	◎グループ発表 「自分で調べた内容を班で発表しましょう。自分が開国派鎖国派中立派の立場なのかを発表する」 ◎ 机間指導 ・グループ発表が円滑に進んでいるか ・資料を見て生徒がどんな意見を出しているか ・しっかりとグループ発表に参加しているか	☆真ん中を境に、開国派、鎖国派の立場に分かれる。まだ決められない人は、真ん中の中立の立場を作り、あまり時間をかけないようにする。 ☆1人ずつ同じ時間を発表できるように、持ち時間の設定を行う

<p>があるんだよ。おしゃれな服も着れるし洋食も大好き。」</p> <p>△中立派(どちらもとれる)</p> <p>④ アヘン戦争の資料</p> <p>「開国をしなかったら清のように武力によって植民地にされていたかもしれない。」</p> <p>○「だから、開国すれば植民地にならなくてよかった。」</p> <p>×「だから、鎖国をしたまま、貿易を続けることができとかもしれない。」</p> <p>×鎖国派</p> <p>⑤大名の意見統計表</p> <p>「開国によって大名たちは進んだ技術を取り入れることができた」</p> <p>⑥不平等条約の内容</p> <p>「開国によって不平等な条約をしてしまったのだから鎖国を続けるべきだった。」</p> <p>「前回までの授業でやったように開国によって人々の生活は苦しくなったのだから鎖国を続けるべきだった。」</p> <p>⑦キリスト教</p> <p>「変な宗教が日本に広まったら大変だから鎖国のままのほうがいいね」</p> <p>○全体発表</p> <p>・班全体の意見を一言で代表者が発表する</p> <p>「わたしの班は、〇〇でした。」</p> <p>「理由は、△△だからです。」</p>	<p>・資料を正しく読み取ることができているか</p> <p>◎途中で意見が変わった人は移動して良い</p> <p>◎全体発表</p> <p>・「今日の授業では、開国・鎖国問題について討論しました。それでは、開国か鎖国か中立かを言い、理由を一発表してください。」</p> <p>◎班の発表を聞いた後で意見が変わった人は移動する。</p> <p>「では、反対派の意見を聞いて移動したくなかった人は移動してください。」</p> <p>◎移動した人の意見を聞く。</p>	<p>☆班の進行担当などを決め円滑にグループ発表をさせる</p>
--	--	----------------------------------

		<p>「移動した〇〇くんなんで移動したの？」</p> <p>◎最後にみんなから阿部さんにアドバイスを上げる。 「みなさんは、どの資料を利用して、阿部さんに意見をしますか？」</p>	
ま と め	<p>○まとめ</p> <p>○ワークシートを活用してセルフディベートをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションをしてみte思ったこと・感じたことをワークシートに記入する ・根拠をもとに自分の立場を省みて、改めて意思決定をする。 <p>・最後に次回の授業内容に触れる</p>	<p>◎まとめ</p> <p>「いろいろな立場の意見が出てきましたね。それでは、今日のまとめとして、討論をしてみte思ったこと・感じたことをワークシートに記入して下さい」</p> <p>「次の授業では、あの徳川幕府に大事件が起こります。そして新しいことに進みますので、今日の復習をしっかりと行ってください。」</p>	<p>☆歴史は1つの視点だけでなく、あらゆる視点で考える事が大切であることを理解させる</p>